

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
精神保健福祉特論	1 単位 15 時間(8 コマ) 講義科目	博士前期 1 年次 前期開講	可・ <input type="checkbox"/> 不可
科目責任者	坂下 智恵		
担当者	坂下 智恵、大山 博史		
1. 科目のねらい・目標			
精神保健福祉に関する諸問題のリスク、心理社会的介入等について吟味するとともにその課題を明らかにし、研究方法を検討する。エビデンス・ベースト・プラクティスの立場から関連する国内外の学術文献に対する考察を行う。その一つとして自殺予防対策を取り上げ、これまでのエビデンスを踏まえどのような支援策が検討できるか精神保健福祉学の立場から考察する。			
2. 授業計画・内容			
<p>以下のようなテーマについての講義および聴講生のディスカッションによって進める。</p> <p>第1回 根拠に基づくメンタルヘルス：アウトカムについて（大山）</p> <p>第2回 根拠に基づくメンタルヘルス：予防とモデル（大山）</p> <p>第3回 各種設定におけるメンタルヘルスの課題（大山）</p> <p>第4回 ライフサイクルに応じたメンタルヘルスの実践と評価（大山）</p> <p>第5回 自殺リスクと自殺へ至る心理的過程の理解（坂下）</p> <p>第6回 自殺予防の現状と精神保健福祉学の立場から見た自殺予防対策（坂下）</p> <p>第7回 地域における自殺予防活動の効果（坂下）</p> <p>第8回 予防的介入モデルを用いた精神保健福祉課題への対策の検討（坂下）</p> <p>なお、上記計画内容は受講生のニーズに応じて、適宜、変更することがある。</p>			
3. 教科書、参考書			
<p>参考書</p> <p>訳者 木原雅子他：「医学的研究のデザイン 第5版」、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2024年、ISBN 978-48157-3115-1</p>			
4. 成績評価方法			
授業への参加度 30%、レポート課題 70%により評価する。			
5. 受講要件			
<p>対面での授業を原則とする。</p> <p>この講義では、受講生に関連する国際的な文献の検索と批判的吟味を行うため、基本的な英文読解能力と統計学的知識が求められる。</p> <p>保健・医療・福祉領域における臨床経験がある者が望ましい。</p>			
6. 社会人学生に対する配慮			
受講日時等、相談を受けます。			
7. その他			
<p>受講生の関心のあるテーマを取り上げて授業を進める。受講生には関連する国内外の先行研究文献の提出を求める。</p> <p>オンデマンドの実施はない。</p>			